

 **WinActor[®]**
Ver.7.4.1 リリースノート

NTTアドバンステクノロジー株式会社

Ver.7.4.1では、Ver.7.4.0にて判明した問題に対処しています。

本ドキュメントでは(1)問題の対処内容と(2)ブラウザ拡張機能の更新方法を掲載しています。

(1) 問題の対処

Ver.7.4.1では、Ver.7.4.0にて判明した問題に対処しています。主な修正点は以下の通りです。

- ①Edge WebDriverがオンラインアップデートできない問題
- ②ブラウザ拡張機能をインストールできない問題
 - Chrome/Edge向けブラウザ拡張機能をオフラインでインストールできない問題
 - 実行版/管理実行版ライセンスでブラウザ拡張機能をインストールできない問題
- ③ウィンドウ識別ルールの編集が反映されない問題
- ④ライセンスクリアの際に製品IDファイルが出力されない問題
- ⑤製品ライセンス登録手続き中に製品IDが変更されてしまう問題

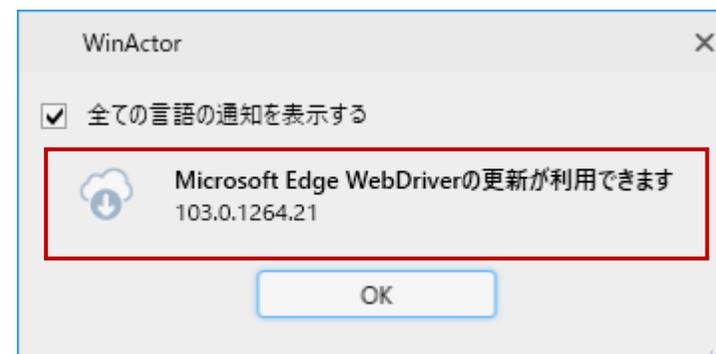
その他、特定の画面操作やノード/ライブラリ実行に関わる問題に対処しています。

(2) ブラウザ拡張機能の更新方法

1 問題の対処

①Edge WebDriverがオンラインアップデートできない問題

Edge Ver.102以降においてWebDriverのバージョンが正しく表示されず、また、オンラインアップデートが正常に動作しない問題を解消しました。



※ WinActor よくあるご質問 - Edge WebDriverのバージョンが表示されず、オンラインアップデートも動作しない
https://www.matchcontact.net/winactor_jp/faq.asp?faqno=JPN00461

②ブラウザ拡張機能をインストールできない問題(1/2)

実行版、管理実行版ライセンスにて
ブラウザ拡張機能のインストールメニューが選択できない問題を解消しました。



②ブラウザ拡張機能をインストールできない問題(2/2)

Chrome/Edge向けのブラウザ拡張機能を外部ネットワーク接続がない環境においてインストールできない問題を解消しました。オフラインでもインストールできるように、オフラインインストール用資材をインストーラに同梱して提供します。

インストール方法については、同梱の下記マニュアルをご参照ください。

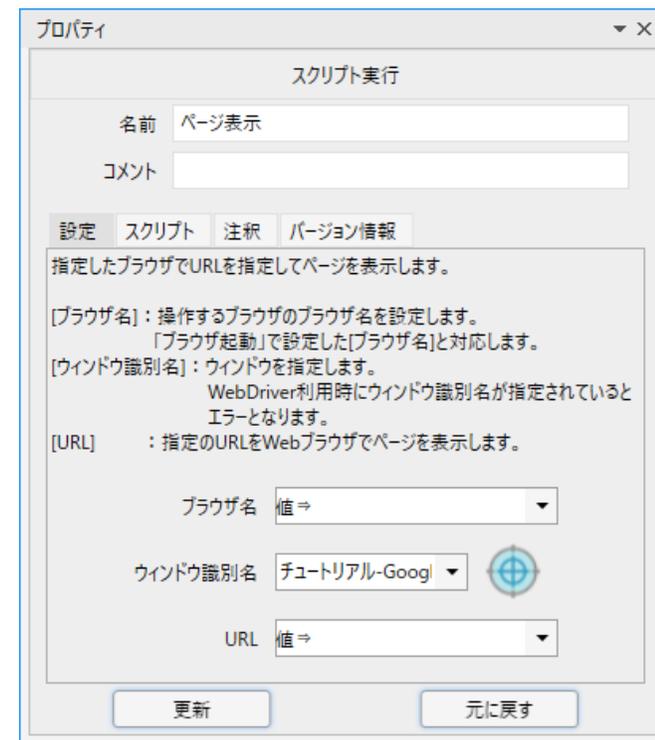
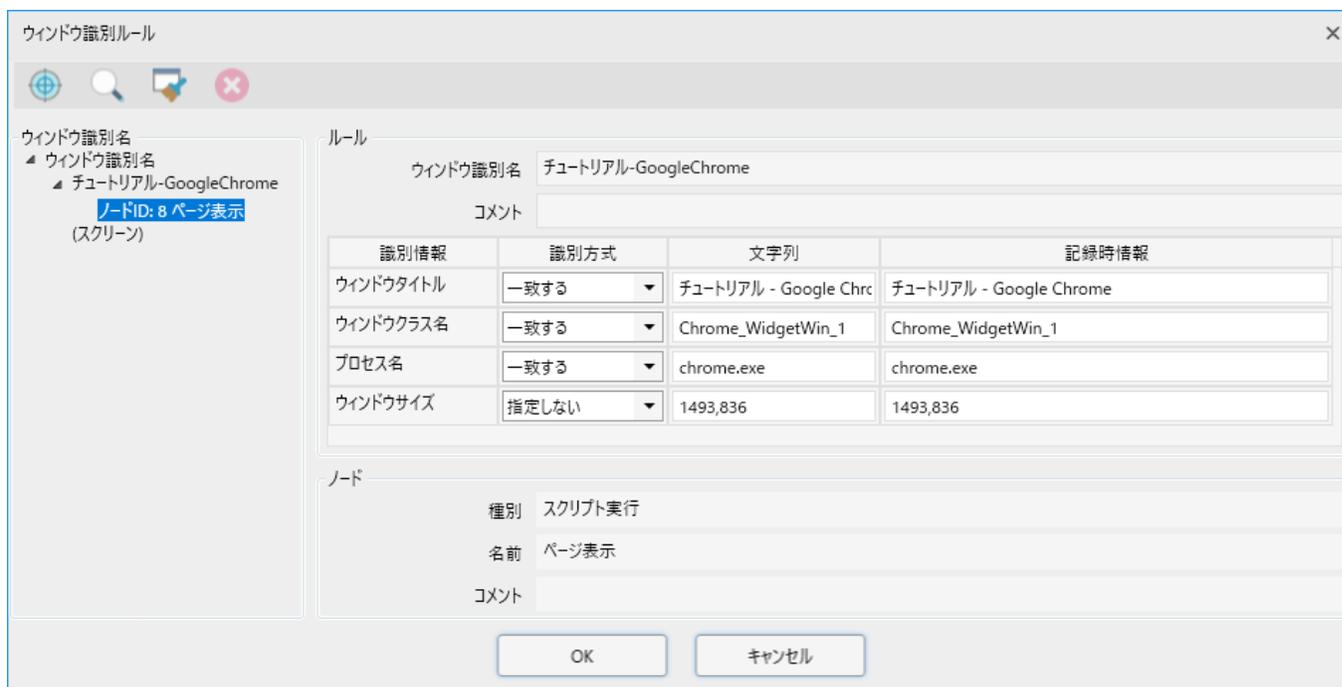
- Chrome拡張機能インストールマニュアル
(WinActor_Chrome_Agent_Installation_Manual.pdf)
 - 2.2. Google Chrome へのインストール手順(ローカルファイル)
 - 3.2. Microsoft Edge へのインストール手順(ローカルファイル)

③ウィンドウ識別ルール編集が反映されない問題

ブラウザ拡張機能利用時にウィンドウ識別ルールが正常に動作しない問題を解消しました。

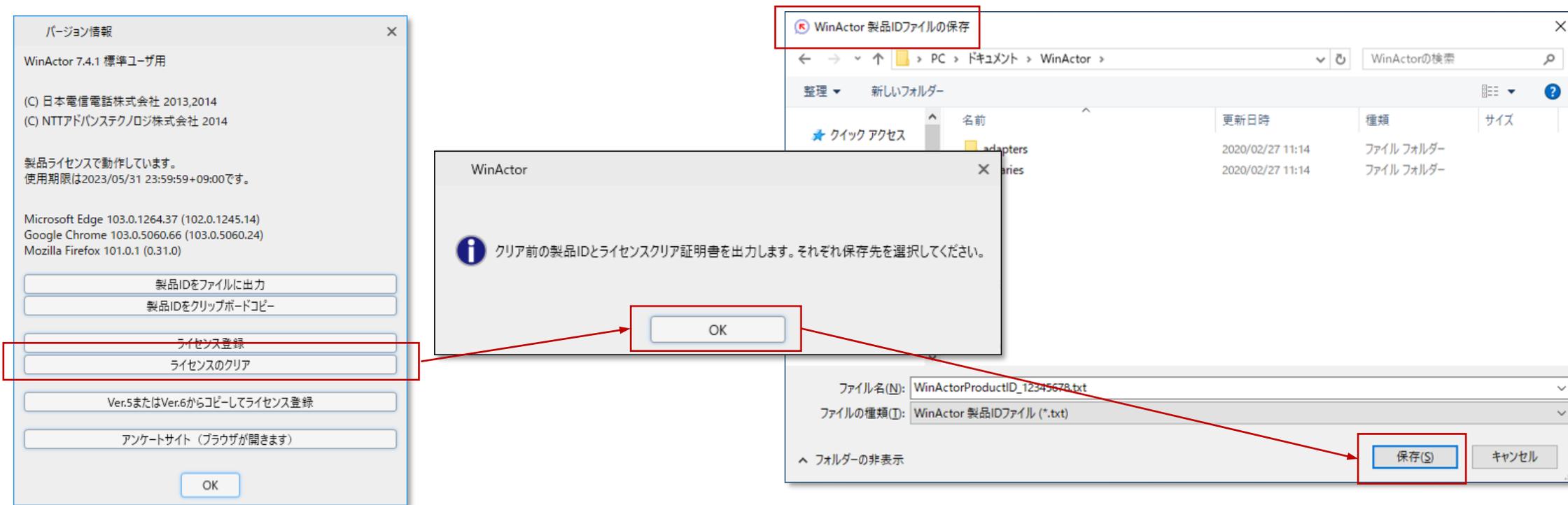
Ver.7.4.0の不具合内容:

ウィンドウ識別ルール画面で編集した内容が、「23_ブラウザ関連」配下のライブラリにてウィンドウ識別名で操作対象を指定する際に反映されない。



④ライセンスクリアの際に製品IDファイルが出力されない問題

ライセンス登録サイトでのライセンス移管の際に必要な製品IDファイルが、ライセンスクリア時に出力されない問題を解消しました。ライセンスクリアの際、ライセンスクリア証明書だけでなく、製品IDファイルも出力できるようになるため、ライセンス移管をよりスムーズに進めることができます。



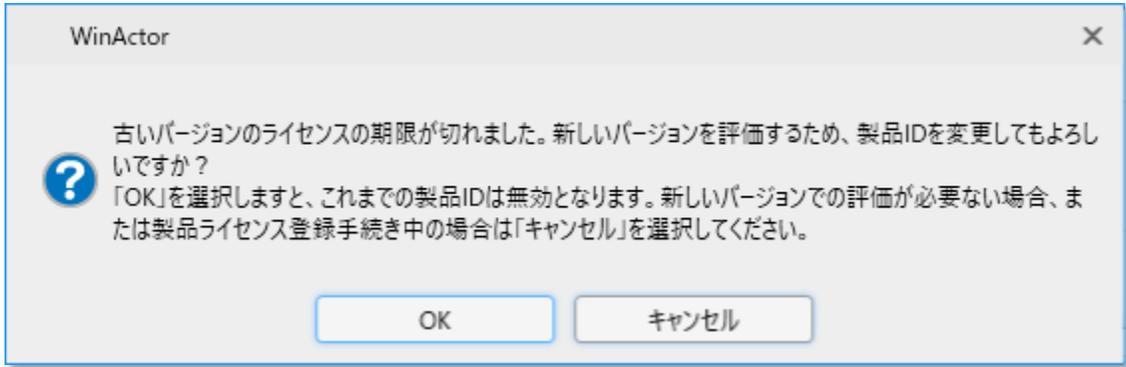
※ ライセンス移管手順の詳細は同梱のインストールマニュアル(WinActor_Installation_Manual.pdf)の「4.2 WinActor ライセンス発行サイトでのライセンス移管」をご参照ください。

⑤製品ライセンス登録手続き中に製品IDが変更されてしまう問題

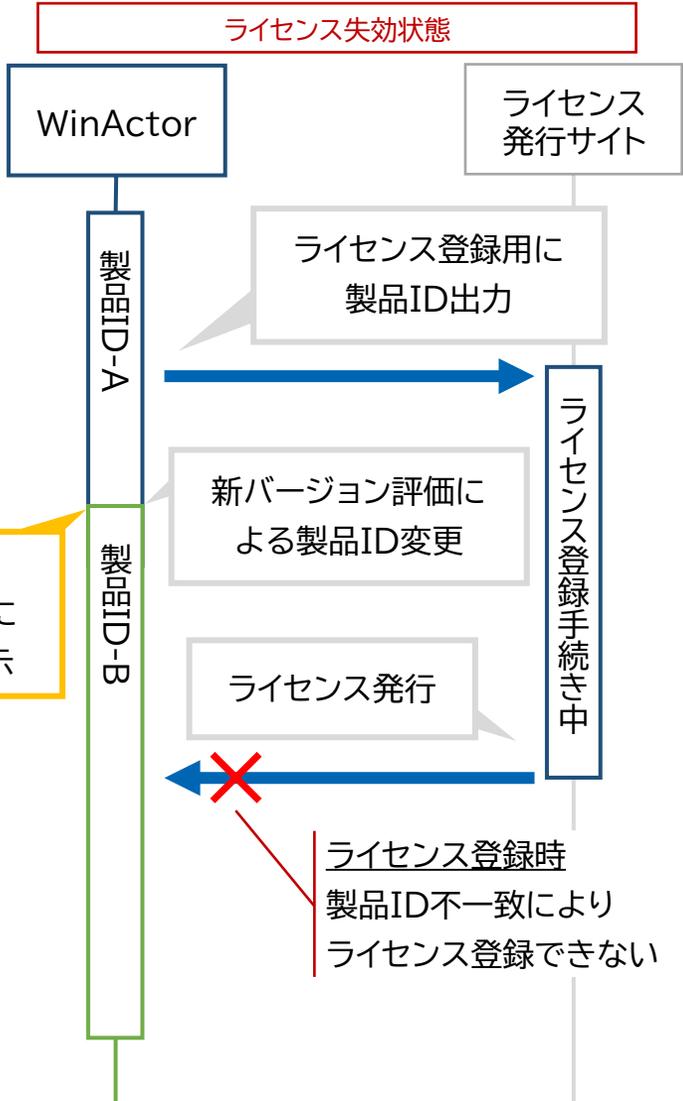
本問題は、ライセンス失効状態で起こりますが、ライセンスが有効であれば起こりません。

新しいバージョンを評価する際、ライセンス登録手続き中(※)にWinActorの製品IDが変更されると、発行されたライセンスとWinActorの製品IDが異なってしまい、ライセンス登録できなくなる問題がありました(右図)。

新しいバージョンの評価を行う前に以下の確認ダイアログを表示し、製品ID変更の実施有無を選択できるように修正しました。ライセンス登録手続き中は「キャンセル」を選択し、製品IDが変更されないようにしてください。キャンセルを選択した場合、再評価を行うことはできませんが、再起動時に同じダイアログが表示され改めて選択できます。



《修正》
製品ID変更前に
確認画面を表示



※ ライセンスの新規発行/更新の際、WinActorにて製品IDを出力後、発行されたライセンスファイルをWinActorに登録いただくまでの間の期間。

Ver.7.4.1では互換性に関わる以下の修正を行っています。

- ① 「04_自動記録アクション」配下のWIN32系ライブラリで、操作対象の要素が非活性/非表示状態であっても操作できてしまう問題を修正しています。Ver.7.4.1からは非活性/非表示状態の要素を操作しようとすると、Ver.6と同様にエラーとなります。

Ver.7.0～Ver.7.4.0において非活性/非表示状態の要素(アプリケーション画面の入力禁止フィールドなど)に対する操作を行っていたシナリオについては動作が変更されますのでご注意ください。

その他、Ver.7.4.1では25件の改善を行っています。
詳細については下記の資料をご参照ください。

- WinActor_v741_改善についての資料.pdf

また、上記改善一覧とは別に、WinActor及びWinActor Storyboardで表示するメッセージをより分かりやすく変更しています。

2

ブラウザ拡張機能の更新方法

ブラウザ拡張機能の更新方法 - Chrome

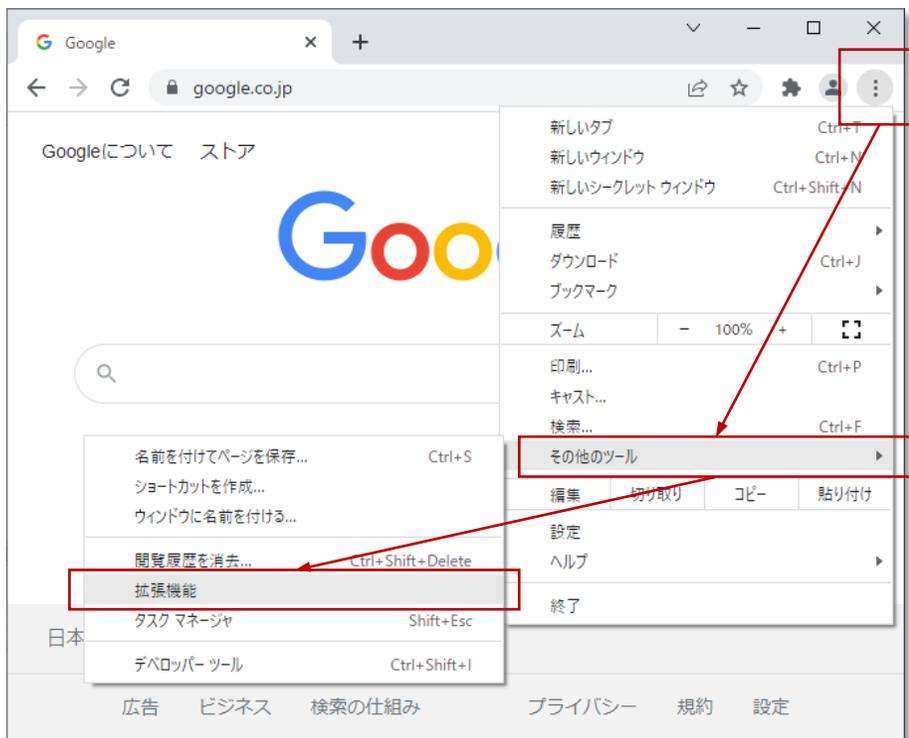
Ver.7.4.1ではブラウザ拡張機能をVer.1.5に更新しています。各ブラウザでの更新方法についてご案内します。

■ Chrome

既に拡張機能をインストールし、インターネットに接続している場合は自動的にバージョンアップされます。

手動更新する場合はChromeの拡張機能画面を開き、下図の手順に従って更新してください。

また、WinActor起動中に拡張機能を更新した場合は、起動中のWinActorを再起動してください。



ブラウザ拡張機能の更新方法 - Edge

■ Edge

既に拡張機能をインストールし、インターネットに接続している場合は自動的にバージョンアップされます。

手動更新する場合はEdgeの拡張機能画面を開き、下図の手順に従って更新してください。

また、WinActor起動中に拡張機能を更新した場合は、起動中のWinActorを再起動してください。

手動更新する場合は「更新」ボタンを押してください。

バージョンアップ後は「1.5」と表示されます。

最初に開発者モードをONにしてください。

■ Firefox

Firefox拡張機能はWinActor Ver.7.4.1で改めて手動インストールしてください。

手動インストールの手順は同梱のFirefox拡張機能インストールマニュアル

(WinActor_Firefox_Agent_Installation_Manual.pdf)の「2. インストール手順」をご参照ください。

事前にFirefox拡張機能 Ver1.0(WinActor Ver.7.4.0同梱)を導入している場合、

Ver.1.0をアンインストールせずにVer.1.5をインストールしていただいで問題ありません。

 **WinActor[®] Ver.7.4.1 リリースノート**

NTTアドバンステクノロジー株式会社

Copyright(c) 2022 NTT Corp. & NTT Advanced Technology Corp. All Rights Reserved.

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で複写、複製することは禁じられています。
本書の内容は予告なく変更される場合があります。

64-I-0714